

World Vision

# Closure report 2021

終了報告書

タイ王国

タウンワ地域開発プログラム

THA-191647 (2008年～2021年度)



## ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

教授法を学んだ教員(累計)

19校で  
275人



十分な食糧がある、  
ほぼあると回答した家庭

2015年



ライフ・スキル\*が  
身についている子どもの割合

2016年

2020年



33.3%

58.9%

\* 問題解決、対人関係、意思決定、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術

## Education



### 教育

教育の重要性を理解し、学習環境が改善されました

支援当初は、多くの保護者が教育の重要性を認識しておらず、約3割の子どもたちが1週間以上学校を休んでいました。また、学校では習熟度に合った授業ができておらず、多くの子どもたちは授業についていけていませんでした。支援を通じ、地域住民への教育の重要性に関する啓発活動、教員への教授法や教材・教室作りに関する研修、補習校の開設、学費の補助、制服や学用品の支援などを行ってきました。これにより、就学率の向上に加え、7割近くの家で子どもたちの学習をサポートできるようになりました。また、教員も指導力を身につけ、子どもたちが楽しく学べる環境を整え、教えられるようになりました。現在では、多くの子どもたちが義務教育を受け、学習を続けています。



支援前  
支援前の地域の教室。勉強をしたくなる環境ではありませんでした



支援後  
先生たちは、子どもたちが楽しんで学べるよう工夫をしています

成果 9年間の義務教育の就学率

2021年 98.6%

教授法を学んだ教員(累計)

19校で  
275人



## マネージャーよりごあいさつ



トゥンワ地域  
開発プログラム マネージャー  
スキラ・トンノック

長きにわたるご支援を誠にありがとうございました。支援当初の住民の生活は貧しく、多くの子どもたちが学校に通っていませんでした。また、基本的な衛生知識がなく、予防できる感染症に苦しんでいる人も数多くいました。ご支援により、これらを改善することができました。皆さま無しに、これほどの発展はできませんでした。心から感謝いたします。今後は、以前のトゥンワ地域のように、支援を必要としているほかの地域の子どもたちのために、ご支援いただければ幸いです。最後になりましたが、皆さまとご家族の幸せと健康が守られますよう、お祈りしています。

## Health



### 保健・栄養改善

自分自身で、健康を守れるようになりました

支援当初は、劣悪な衛生環境により、下痢や予防可能な感染症に苦しむ人が多くいました。未成年で妊娠する女性や、出産環境、標準体重以下の新生児の多さなど母子保健に関する課題もありました。支援を通じ、保健ボランティアの育成や地域のリーダーを中心とした保健委員会の発足をしました。保健ボランティアを中心に、地域住民への啓発活動を行い、母子保健、栄養、感染症予防などの知識やスキルを伝えることができました。現在では、ほぼすべての子どもが標準体重を超えています。また、思春期の子どもたちと保護者には、性と生殖に関する正しい知識と健康の重要性について伝えることもできました。衛生習慣や予防接種の促進により、感染症にかかる人が減少し、病気になったときも迅速に対応できるようになりました。これらの活動は新型コロナウイルス感染症の予防にも役立てられ、地域住民は健康を守ることができています。



支援前  
妊娠7カ月の17歳の女の子。妊娠を防ぐだけでなく、健診を促すことも重要です



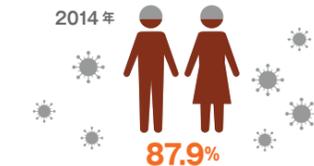
支援後  
手洗い習慣を身につけた家族

成果 予防接種を受けるようになった子どもたち

2015年 95%

感染症流行時に対処法を理解している保護者の割合

2014年 87.9%



## Economic Development



### 生計向上

日々の生活だけでなく、将来の生活を見据えています

地域住民の多くは、ゴムの樹液採取、農業、漁業で生計を立てていました。樹液採取は労働時間が限られ、生計を維持するための十分な収入は望めません。また、ゴムの価格低下により生活が苦しくなっていました。一方で農業や漁業も、天候に左右されるため、収入も不安定な状況でした。支援を通じ、養鶏、ウズラの飼育、ナマズの養殖やヒラタケの栽培などに関する研修を行いました。多様な農作物を生産できるようになった結果、各家庭は1年を通じて食材を手に入れ、余剰分を販売することで、現金収入も得られるようになりました。また、計画的な家計管理の重要性について研修を行い、緊急時に備え、貯蓄ができるようになり、多くの保護者が子どもたちの将来のために貯金ができるまでになっています。



支援前  
養殖で使われていたイカダ。伝統的な方法ですが、満身に収穫ができていませんでした



支援後  
カニ網の支援を受けた家族

成果 十分な食糧がある、ほぼあとと回答した家庭

2015年 100%



## Child Protection



### 子どもの保護

子どもたちが、地域のために働いています

以前は、約25%の保護者が結納金を目的に子どもを低年齢で結婚させることを肯定的に考えていました。また、多くの保護者が仕事や日常生活で忙しく、子どもの世話をする余裕がありませんでした。支援を通じ、保護者や地域住民への啓発活動や、子どもたちの能力開発を行うことができました。啓発活動では、保護者には子どもの成長に必要な家族愛や思いやりの重要性について研修を行い、地域住民には子どもの保護や子どもの声を聞くことの重要性を伝えました。住民主体で子どもの保護委員会が設立され、虐待や早婚などから子どもたちを守ることができています。子どもたちは子どもクラブや青少年グループを通じ、ライフ・スキル\*を学び、良い選択や決断をできるようになりました。また、地域のために自主的に活動できるようになり、19校の生徒たちが村の清掃をするグループを設立しました。環境を守る方法を学び、清掃イベントを実施したり、地域での啓発活動を行ったりしています。



支援後  
地域清掃を行っている子どもたち



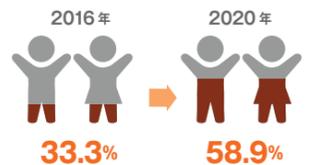
支援後  
地域のボランティアが子どもの暴力防止キャンペーンを行いました

成果 両親と良い関係を築いている子どもの割合

2015年 97.7%

ライフ・スキルが身についている子どもの割合

2016年 33.3% → 2020年 58.9%



## 地域代表者からのごあいさつ



トゥンワ地域の幼稚園園長  
ソングン・トゥンワ氏

トゥンワ地域を代表して、皆さまのご支援に心から感謝いたします。以前は、教育の重要性を理解していない住民が多く、学習環境が整備されていませんでした。皆さまのご支援により、先生たちは指導方法の研修を受け、学校は教材や教室の支援を受けることができました。また、地域での教育の重要性に関する啓発活動により、学習環境は改善され、子どもたちの識字率を向上させることができました。子どもたちの人生を変えるご支援に心から感謝いたします。これからは私たちが主体となって、保護者や地域住民と協力し、トゥンワ地域の子どもたちのためにより良い環境を作りたいと思います。

\*問題解決、対人関係、意思決定、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術

# 皆さまとともに歩んだ 14 年間の支援と成果

準備期  
2008 年度  
▼  
2010 年度

- ◎ 現地調査と、事業計画の策定
- ◎ 既存の住民グループの組織能力の強化
- ◎ 地域のリーダーの育成と、地域住民に対する事業の周知および関係構築



支援開始当初の子どもたち



子どもたちが抱える問題について話し合う保護者

第1期  
2011 年度  
▼  
2015 年度

- ◎ 教育の質を高めるための教員向けの研修の実施
- ◎ 地域住民対象の教育の重要性に関する啓発活動の実施
- ◎ 生徒の学習状況や生活態度のモニタリング、ライフ・スキル教育を通じ、早期退学者を生まないための対策を実施
- ◎ 農業、漁業などの収入向上のための研修や、貯蓄習慣の啓発活動の実施
- ◎ 感染症予防や子どもの栄養改善、性と生殖に関する研修と啓発活動の実施



ナマズ養殖について学んでいる様子



子どもキャンプの様子

第2期  
2016 年度  
▼  
2019 年度

- ◎ 保護者への読み書きの重要性についての啓発活動、子どもたちへの読み書きやライフ・スキルに関する研修の実施
- ◎ 教授法について指導できる教員の育成および研修の実施
- ◎ 郡政府への保健や教育に関する啓発活動の実施
- ◎ 青少年向けの職業訓練や、子どもの権利や保護に関する啓発活動の実施



子どもたちは、自分たちが作った絵本で読み書きを学んでいます



ユースグループでリーダーシップについて学ぶ様子

第3期  
2020 年度  
▼  
2021 年度

- ◎ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策の一環として、地域医療従事者への研修や治療用品、マスクとガウンの支援。子どもたちとその家族、ボランティアへのマスクや手指消毒液、石けんなどの衛生キットの支援。また、石けんを使った手洗い指導や衛生行動の促進
- ◎ 現地政府、教育委員会などとのプロジェクト終了後の活動計画や展開について話し合い
- ◎ COVID-19の影響で学校に通えなかった子どもたちの学力補強
- ◎ 読み書き啓発活動の継続について、学校との話し合い



学校との今後の活動について話し合い



COVID-19の支援物資を受け取った子どもたち

## 支援を受けたチャイルドのストーリー

支援を通じて学んだことを活かして、  
地域のために働きたいです！

ワンアサちゃん  
(16 歳)

トゥンワ地域に住むワンアサちゃん(16 歳)は、お父さん、お母さん、6 歳の弟の 4 人家族です。以前は、自分に自信を持たず、引っ込み思案でした。そんなワンアサちゃんが、支援を受け始めてからの変化を話してくれました。

「私はご支援により、ライフ・スキル研修、リーダーシップ研修などさまざまな活動に参加しました。最初は参加するのが怖かったのですが、研修を通じて自分で考えて行動する勇気と、リーダーシップ、ライフ・スキル、コミュニケーション能力などを身につけ、自分に自信を持てるようになりました。今では、学校や地域の環境をより良くしたいと思うようになり、ゴミ収集プロジェクトを立ち上げました。生徒たちに環境保全の重要性を知ってもらい、ゴミの分別を行うよう促しています。また、地域でもウォーキングキャンペーンを行い、ゴミを拾い、分別することの重要性を伝えていきます。地域の環境が少しずつ良くなり、この地域の一員であることに誇りを持っています」

「最後になりましたが、ご支援くださった皆さまに心から感謝いたします。私にたくさんの機会を与えてくださり、ありがとうございました。私は、自分のため、家族のため、地域のために学んだことを活かしていきたいと思えます」

